

冠動脈造影および冠攣縮誘発試験をした冠攣縮性狭心症の皆様へ

JR広島病院 循環器内科は、冠攣縮性狭心症の臨床研究を行っています

冠攣縮性狭心症とは

冠動脈が攣縮することにより心筋虚血を来し、狭心症や心筋梗塞を来す疾患です。冠動脈が攣縮することにより、胸痛や不整脈を来すことが報告されています。

調査の名称

糖尿病の有無が冠攣縮性狭心症患者の臨床的特徴および予後に及ぼす影響

調査の目的

冠攣縮性狭心症患者さんにおいて、糖尿病を有する場合、臨床的特徴および予後にどのような影響があるのか後ろ向きに調査すること。

調査の内容

この調査は、2011年1月1日より2019年3月31日までに広島鉄道病院・JR広島病院に入院され、冠攣縮誘発試験にて冠攣縮性狭心症と診断された284例を対象にしています。そのときに得られた臨床的特徴や予後(心血管病の合併など)が異なるかどうか調べます。

患者さんへ(注意事項)

- この調査は、通常の検査・治療で得られた過去のデータを使用するものです。
- したがって、この調査のために、新しいお薬や治療器などを使っていただくことや、検査・採血・アンケート調査を追加することはありません。
患者さんにはこれまで通りの検査・治療を受けて頂きます。
- この調査にご協力いただいても、金銭・物品などを提供することはありません。
- この調査は2011年1月1日～2023年3月31日の間で情報を収集します。
- この調査に協力したくない場合は、遠慮なく担当医師に申し出てください。
その場合でも患者さんが不利益を受けることは全くありません。

プライバシーの保護について

- この調査のために、研究協力者が患者さんのカルテ等を拝見しますが、患者さんのお名前など個人を特定する情報が決して院外に漏れることはありません。
- この調査の結果は、専門学会や医学雑誌に発表する場合も、患者さんのお名前など個人を特定する情報は発表されません。

この調査についてわからないことや、気になることがありましたら、
担当医師までお気軽にお尋ね下さい。

連絡先: JR広島病院 循環器内科(代表 寺川 宏樹) [082-262-1172](tel:082-262-1172)